



# 東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

**2018年  
3月号  
(第20号)**

## 今月の聖句

「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」  
 (コリントの信徒への手紙、一、第1章6節)

今月の強調テーマ：BF (ブラザーフッド基金)・メネット

## 2017～2018年度 主題

クラブ会長 石田孝次「ボランティア活動の『土台作り』と『実践』」

東新部部長 伊藤幾夫(東京多摩みなみ) 「E人(イーヒト)になろう」

東日本区理事 栗本治郎(熱海) 「広げよう ワイズの仲間」

アジア太平洋地域会長 Tung Ming Hsiao(台湾)「ワイズ運動を尊重しよう」

国際会長 Henry Grindheim(ノルウェー)「ともに、光の中を歩もう」

《クラブ役員》会長 石田孝次 副会長 真藤広子/綿引康司

書記 田中博之 副書記 小早川浩彦 会計 深尾香子 担当主事 小野実

## 3月例会プログラム

日時：3月6日(火) 18:30～20:30

会場：ベルブ永山 4階学習室

司会：小野実、受付：小早川浩彦

- \*開会点鐘 石田孝次会長
- \*ワイズソング 一同
- \*今月の聖句・祈祷 藤田智
- \*ゲスト/ビジター紹介 会長
- \*会長挨拶
- \*夕食
- \*4部合同 EMC シンポジウム参加報告  
石田孝次
- \*ワンポイントワイズ 田中博之
- \*ハッピーバースデー/アニバーサリー
- \*YMCA ニュース・連絡等
- \*スマイル献金
- \*YMCA の歌 一同
- \*閉会点鐘 会長

## 「地域を大切にすること」



私は八王子に生まれ、58年間ずっと八王子に住んでいます。そして多摩の地域金融機関に長年勤務し、企業理念である「地域への貢献」を刷り込まれてきました。私にとって多摩は「ふるさと」であり、この地域が繁栄し、住む人や働く人ができるだけ多く「幸せ」を感じてほしいと

思います。

現在多摩地域には427万人が住んでいますが、うち老年人口(65歳以上)は24.0%(都区部21.6%)、年少人口(14歳以下)は12.7%(都区部11.3%)と、子供と高齢者の比率が高い地域でもあります。また当然老年人口は増加傾向にあります。このような社会の中で置き去りにされていく老人や貧困に喘ぎ十分に食事を採れない子供たちが数多く存在しているだろうと推察されます。この弱者に気付き、手を差し伸べることもわがクラブの目指すところです。

地域貢献は、経済的な要素や文化・芸術だけでなく、社会全体の底上げ=小さな「幸せづくり」もその一つと考えます。大きいものは市町村や私の勤めるような組織の果たす領域でしょう。ワイズのできることはもっと小さく、少数に対してのアプローチですが、下からの「幸せづくり」をしたいものです。それも制約に囚われないワイズならではの形で。

私たちの活動の結果、一人でも幸せを感じてくれれば私たちの存在意義はあったといえます。これこそが「地域を大切にすること」だと思います(綿引康司)

## 3月の Happy Birthday/Happy Anniversary

<誕生日>

滝口 恵子(1日)、藤田智(7日)、

深尾香子(22日)

<結婚 記念日 >

石田 孝次(3日)

2月例会	在籍13名 例会出席10名	出席内訳	メンバー		BF	ファンド
			10名	1名	切手 1421.89g(累計1829.01g)	オークション 0円
			出席率 100%	現金(含書損カギ等換金分)	(今年度累計 29,206円)	
			メネット 0名	0円(累計 円)	スマイル 4,664円	
			ゲスト・ビジター 3名		(今年度累計 37,266円)	

## 2月例会報告

2月6日(火)、2月例会がベルブ永山3階講座室にて開催されました。夕食の前には2月の強調テーマの「TOF」について、その趣旨、献金の状況、TOF献金によって支援されている世界のYMCAのプロジェクトの状況などの紹介が田中から行われました。夕食は、「TOFディナー」。いつもの例会の夕食より質素にし、差額をTOF献金に捧げました。



久しぶりのメンバースピーチは、真藤さんの「知れば知るほど奥深い下着の知識」。35年間関わって来た下着販売の仕事の始めた経緯、下着の知識、正しい選び方などをお話いただきました。



ハッピーバースデー・アニバーサリー、YMCA報告等ののち、2月9日(金)に開催される東京YMCAにほんご学院スピーチコンテストへの当クラブからの支援金が石田会長から小野担当主事(同学院校長)に贈呈されました。



今年も宝塚クラブの女性の皆さま(宝塚花組)からバレンタインのチョコをいただきました。(田中記)  
《出席者》:「メンバー」10名:石川、石田、伊藤、小野、小早川、真藤、滝口、田中、藤田、綿引、「ビジター」1名:谷治、「ゲスト」2名:武藤桂、横江啓似子「メーカー」1名:深尾

## 2月役員会報告

2月19日(月)、ベルブ永山4階視聴覚室にて2月役員会が開催されました。

今回は東新部部長の公式訪問で、多くの東新部役員が随行されました。伊藤さんの部長挨拶では、4部合同EMCシンポジウムにおける当クラブメンバーのサポートへのお礼が述べられました。

- 3月例会では、スピーチの時間に、石田会長による上記シンポジウムの参加報告が行われることになりました。
- 「在京ワイズ合同新年会」開催に向けて、会場として必要な部屋の規模感の確認が行われました。第一候補にあがっている「立川グランドホテル」の費用を、次回例会までに真藤さんが中心となって確認する予定です。
- 会計報告では、献金額が119,350円となり、目標額109,050円を上回った旨が報告されました。
- 石田会長による「東京YMCAにほんごスピーチコンテスト」の報告がありました。
- 東京グリーンクラブ45周年記念例会には、伊藤さんと田中さんが参加予定。
- 「東京YMCA 妙高高原ロッジさよならパーティー」と「揚がれ!希望の凧」の案内があり、参加が呼び掛けられました。

《出席者》9名:「メンバー」石田、伊藤、小早川、真藤、深尾、綿引、「部長公式訪問」:(伊藤)、松香(東京コスモス)、佐藤(東京)、櫻井(東京むかで)

## これからの予定

- ・3/6(火):3月例会(ベルブ永山学習室)
- ・3/6(火)-8(木):東京YMCA 妙高高原ロッジ さよならパーティー
- ・3/11(日)「揚がれ!希望の凧2018」
- ・3/19(月):3月役員会(ベルブ永山創作室)
- ・3/21(水):東京グリーンクラブ45周年記念例会

### 《ご案内》

1. 東京YMCA 妙高高原ロッジ感謝・さよならパーティー  
\*日時:3月6日(火)~8日(木)  
(3/7(水)16:30~メインセレモニー)  
\*場所:東京YMCA 妙高高原ロッジ  
\*参加費:17,190円  
(2泊3日、食事、宿泊、パーティー代)  
当クラブからの参加予定:石田、田中、伊藤

2. 東日本大震災復興支援“揚がれ!希望の凧”  
\*日時:3月11日(日)14:00~15:30  
\*場所:町田市玉川学園子ども広場  
\*参加費:無料。ただし、凧代200円。

## 国際協会・年央会議報告

2月17日(土)～20日(火)にチリ・バルパライソにて開催された、ワイズメンズクラブ国際協会の年央会議(Mid-Year Meeting)にアジア太平洋地域を代表して参加してきました。

年央会議とは毎年2月に国際執行役員(国際会長、次期国際会長、直前国際会長、国際会計)と世界8地域の次期地域会長の出席で開催され、7月からのワイズ新年度に向けての諸準備、8月に開催される国際議会での議案の事前協議が行われます。



年央会議

バルパライソは、チリの首都サンチアゴから120キロ程西の港湾都市で、街全体が歴史的な街並みとして世界遺産に登録されています。急な斜面に立ち並ぶ家々はカラフルで、また街中の芸術的な「落書き」でも有名です。



夕暮れの街並み



会議では、国際協会全体の現状と課題が共有され、次年度そして2022年の国際協会創立100周年に向けての取り組みについて活発な意見交換が行われ、また、5泊6日間寝食を共にすることで相互理解・友情を深めることができ、8月の韓国・麗水での国際議会およびそれに続く国際大会での再会を期しました。



フェアウェルディナー

(田中記)

## 4部合同 EMC シンポジウムに66名参加

2月17日(土)13:30～16:30、東京YMCA山手センター2階STEP IIにおいて、4部合同EMCシンポジウムが開催されました。今年度は、首都圏を領域に含む4部(東新部、関東東部、あずさ部、湘南・沖縄部)の合同開催でした。参加者は4部のほかに、富士山部、北東部からの参加もあり総勢66名となり、STEP IIの部屋は満員となりました。



4部合同 EMC シンポジウム

東新部LT委員長の長澤弘さん(東京)の開会挨拶で始まり、続いて栗本東日本区理事は「本来このようなシンポジウムは区が主催してやるべきところを東新部が音頭をとってくださり感謝します。会員数を増やす努力をみんなでやっていきましょう」と挨拶されました。

発題では、伊藤が過去21年間の東新部会員推移をまとめたプリントをもとに、会員減少に歯止めをかける対策が喫緊の課題であると訴えました。太田東新部エクステンション委員長からは、現在進めている3つの新クラブ作り(町田地域、新宿地域、新潟地域)について進捗状況の説明がなされました。東京YMCAの星野副総主事からは、YMCAポジティブネットの話とご自身のYMCA野外活動スタッフとしての経験談を話されました。休憩を挟んで、後半は、4部から推薦されたパネリスト、澁谷弘祐さん(所沢・2014年転入会)、大輪匡史さん(東京武蔵野多摩・2016年入会)、古賀健一郎さん(横浜・2015年入会)、そして東新部からは我がクラブの石田さんに、ワイズに入会して感じたことを発題していただきました。石田さんは、ワイズの直面する課題を4つのフローチャートにまとめ、わかりやすく解説されました。参加者もディスカッションに加わり、共に学ぶ機会となりました。当クラブから出席の石田さん、深尾さん、滝口さん、綿引さんには準備、受付、片付けなどしていただき、たいへん助かりました。

(伊藤記)

## にほんご学院スピーチコンテスト

我がクラブがスポンサーの一員になっているにほんご学院の恒例のスピーチコンテストが、2月9日(金)に東京YMCA東陽町センターにて開催されました。にほんご学院の留学生はもとより学校関係者、YMCA関係者、ワイズ関係者など多くの出席者で会

場が埋め尽くされ、和やかな雰囲気の中にも多少の緊張感と秘めたる期待感を抱きながら熱気あふれる会場で初中級の部 5 名、中上級の部 12 名、計 17 名のスピーカーのスピーチに耳を傾けました。びっくりするほど流暢な日本語で自らの思いをまとめ、はっきりとした口調で正確に伝えられており、スピーカーとにほんご学院の先生が一体となって準備し、訓練を積み重ねてこのコンテストに臨んでいることが伝わり、大きな感動をもらいました。

「東京多摩みなみクラブ賞」の受賞は、ベトナムからの留学生 **Truong Thi Lan** (チュオン ティ ラン) さんの『時間が一番大切』に決まりました。「日本に留学して来て、『日本人はなんて忙しくしているんだろう』と思いました。ベトナムと日本の一日は同じ 24 時間なのに、日本人は、一分一秒を大切にしているから忙しく見えるのだと思いました。大切な時間を何のために使うかを考えさせられました。今日が人生最後の日だとしたら、わたしは家族にありがとうと伝えるために時間を使いたいと思います」と、学びたての日本語で丁寧にスピーチをしていました。総合優勝者は、中上級部のラストスピーカーとなったモンゴルからの留学生 **Enkhbayar Sainzaya** (エンフ バヤル サインザヤー) さんの『夢への道』でした。あと 1 年を残して 3 月末に急遽祖国に帰還せざるを得なくなった無念さを乗り越え、将来に向かって夢を持ち続ける逞しさが伝わってきました。**Truong Thi Lan** さんは、初中級の部ではもうひとりの優勝者の王公照さんに次ぐ成績でした。留学 1 年目にしての快挙であり心から祝福し、機会があればクラブの例会にゲストとしてご参加いただければと願っております。(石田記)



## YMCA ニュース

2018 年 3 月の東京 YMCA ニュースをお知らせいたします。

### ■「下町こどもダイニング」開催報告

1 月 29 日「下町こどもダイニング」が東陽町センターにて開催され、定員を上回る申込があり、小学生 24 名と保護者 4 名が参加しました。子どもの「孤食」をテーマとした同プログラムは 4 月から毎月 1 回、

東陽町コミュニティセンターで継続開催予定です。

■ピンクシャツデーでいじめのない社会を目指す  
毎年 2 月に設定される、いじめのない社会を目指すキャンペーン「ピンクシャツデー」に全国 YMCA が協力して取り組んでいます。2 月 28 日、子どもたちや学生、教職員などが、ピンクの服や小物を身につけたり寄せ書きをして、いじめ反対をアピールします。

### ■にほんご学院スピーチコンテスト報告

2 月 9 日、東陽町センターにてにほんご学院スピーチコンテストが開催されました。150 名の学生の中から選抜された 17 名のスピーチが披露され、審査員によって 6 名の入賞者が選ばれました。東京多摩みなみワイズメンズクラブからもご支援をいただき感謝いたします。

### ■今後の主な行事予定

- ・ liby チャリティーコンサート  
3 月 3 日 (日本基督教団阿佐ヶ谷教会)
- ・ 第 28 回チャリティーゴルフ大会  
4 月 12 日 (レイクウッド総成カントリークラブ)
- ・ 高石ともや Bangladesh 奨学基金チャリティーコンサート 4 月 15 日 (日本基督教団浅草教会)
- ・ 東日本地区 YMCA 理事・常議員・総主事研修会  
4 月 28 日 (東陽町センター)

### ■日本の留学生について (2)

日本への留学を目指す学生の目的は様々です。日本語学校を卒業した後は、多くの学生が専門学校や大学、大学院などへ進学をしていきます。日本での学びを深めたいという学生もいますが、日本での就職を目指す学生も多数います。日本における外国人の就労については、法務省が基準を定め、入国管理局で審査を受けます。外国人の就労は専門性を持つことが必要で、単純労働による就労は認められていません。そのため日本の専門学校や大学の卒業資格が必要となるのです。一方で、留学生は「資格外活動」の許可を得ることによってアルバイトをすることができます。1 週間 28 時間までという制限がありますが、単純労働も可能です。日本で働く外国人は約 128 万人。日本全体の労働人口の 2%、つまり 50 人にひとり外国人という計算です。そのうち 29.7 万人は前述の留学生の資格外活動、25.8 万人は、日本の技術を母国へ移転するために来日した技能実習生と呼ばれる外国人たちです。いずれも就労を目的としない資格で日本に滞在する外国人です。東京のコンビニエンスストアに毎日 2 千万食のお弁当が並ぶのも、宅急便が翌日目的地に配達されるのも、お弁当工場や物流工場で働く留学生が一役買っていることに間違いありません。わたしたち日本人は、すでに外国人の労働によって支えられている日本社会があることを意識しなければなりません。(つづく) (小野記)

連絡先：〒192-0023 八王子市久保山町 1-9-3-807 田中博之 (携帯) 090-9823-6387

例会日：本例会 第 1 火曜日 18:30~20:30 会場：ベルブ永山 多摩市永山 1-5 TEL 042-337-6111

役員会 (第 2 例会) 第 3 月曜日 18:30~20:30 会場：ベルブ永山

会費送金口座：多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通口座 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ会計 深尾香子